

<令和3年度分>第8期京丹波町介護保険事業計画等の進捗状況の報告及び評価（計画の施策関係）

資料1-2

※R2年度実績値中、昨年度報告値から変更があった箇所は赤字で記載しています

※R3年度実績値は、見込値の場合があるため、今後変更する可能性があります。

基本目標	基本施策	主要施策	令和3年度		評価指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
			主な取組内容	評価や課題・改善策等							
1 支え合うまちづくり-地域包括ケアシステムの強化-【計画書P46~P48】	1 地域包括ケアシステムの深化・推進	(1)地域包括ケアシステムの強化	・地域ケア推進会議(2層協議体) 多職種の参加により災害避難対応や介護報酬改定、介護事故予防、生活支援体制等について地域の情報や課題共有、対応検討等。 ・地域ケア個別会議 新規相談事例や困難事例の情報共有・支援策検討等。 ・地域包括ケア推進委員会(1層協議体 年間2回開催) 関係機関、諸団体の参加により町の現状や将来推計、町民のニーズ等を情報提供し共有、課題抽出、解決に向けての検討等。(第1回委員会については、新型コロナウイルス感染予防により中止)	少子高齢化、人口減少の最先進を行く町の現状及び課題から、町のめざす方向について、国の見える化システム等のデータを用いて認識し合い、意見交換、課題検討を行うことで地域包括ケアの規範的統合を進める。	地域ケア個別会議(回)	計画値	-	30	30	30	
					実績値	29	12				
		(2)地域包括支援センターの機能強化	総合相談事業、ケアマネジャーの後方支援、生活支援体制整備、在宅医療・介護連携事業、認知症対策等。	関係職や住民の介護予防・自立支援に関する認識のズレやばらつきが大きいと感じる。 機会あるごとに、認識や課題の共有化に努め、地域包括ケアを推進する。	地域ケア推進会議(回)	計画値	-	27	27	27	
					実績値	18	11				
		2 高齢者を支える地域の体制づくり	(1)見守り支え合う地域づくりの構築	支援が必要な高齢者や障害者等を早期に発見し、支援へつなぐため、町内事業所に絆ネットへ加入いただき、安否確認など緊急事態への対応を行ってもらっている。	登録事業所から社会福祉協議会へ連絡が入り、状況確認やサービス利用につながった事例があった。地域の見守りによって、迅速な対応につながっている。	見守りネットワーク協力事業者登録件数(件)	計画値	-	65	67	70
						実績値	62	64			
		(3)日常生活を支援する体制の整備	高齢者の担い手としての社会参加の促進と、集いの場の拡充を目的に「スリーエー教室」を開催。	一人暮らし高齢者や高齢者世帯等の増加により、民生児童委員の負担が大きくなっている。 また、災害時対応等での民生児童委員の役割分担の明確化等も検討を要する。	送迎サービスがないと参加しにくい等、交通手段確保対策が喫緊の課題である。	地域ケア個別会議(回)(再掲)	計画値	-	30	30	30
						実績値	29	12			
		3 医療と介護の連携の推進	(1)在宅医療・介護の連携会議	・在宅療養に関わる町内医療職、介護専門職の参加による地域ケア推進会議の開催 ・在宅療養移行支援研修(南丹圏看護協会主催)への参加	地域包括支援センター、各居宅介護支援事業所と町内や近隣市の医療機関の地域連携室との連携が円滑に行えるようになってきており、個々に関する事例検討及び入退院支援、外来通院に関して支援が行えるケースが増えている。	地域ケア推進会議(回)(再掲)	計画値	-	27	27	27
						実績値	18	11			
	(2)医療・福祉・介護の連携のための人材の育成等	・地域ケア個別会議等の開催 ・地域リハビリテーション支援センターとの共同研修 ・南丹在宅療養地域推進会議主催の研修等への参加	介護職、医療職双方の出席による地域ケア個別会議、研修を積み重ねる。		地域ケア個別会議(回)(再掲)	計画値	-	30	30	30	
					実績値	29	12				
					ケアマネジャー協議会(回)	計画値	-	2	2	2	
						実績値	1	1			

基本目標	基本施策	主要施策	令和3年度		評価指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
			主な取組内容	評価や課題・改善策等						
2 いきいきと暮らせるまちづくり-健康づくりと介護予防-【計画書P49～P53】	1 健康づくりの推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診結果の積み重ねを行うため、旧町単位での結果報告会を実施</li> <li>・病態別教室「血管リフレッシュ教室」を開催し、塩分摂取量の「見える化」による指導を行っている。</li> <li>・糖尿病対策として、糖尿病重症化予防に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診の受診者数は2年前の約8割程度であるため、感染予防対策を講じながら、受けやすい健診体制を目指す。</li> <li>・医療機関と連携し、糖尿病予防、慢性腎臓病予防のため、必要な個別栄養指導を行っている。</li> </ul>	特定健診の受診率(%)	計画値	—	58.0	59.0	60.0
						実績値	36.6	45.0		
					特定健診保健指導受診率(%)	計画値	—	50.0	55.0	60.0
						実績値	15.9	15.0		
	(1)介護予防・日常生活支援サービス事業	ア 現行相当サービス事業	サービスが必要になった方が即利用できるよう、心身の状態が回復された方にはその方の状態に見合ったサービスに移行してもらう意識作りに取り組んでいる。	訪問型サービスは、A事業利用への移行がスムーズに行えていることから、A事業の利用が伸びた分、現行相当の利用は見込みよりも減少した。	訪問型サービス事業(延べ回数)	計画値	—	1,120	1,120	1,120
						実績値	1,120	696		
					通所型サービス事業(延べ回数)	計画値	—	2,810	2,810	2,810
						実績値	2,810	2,846		
		イ 総合事業緩和型サービス事業	訪問型サービスA事業について、支え手になり得そうな方がいれば随時講習を実施し養成を行っている。	訪問型サービスA事業については、担い手の確保が喫緊の課題である。	通所型サービスA事業(延べ人数)	計画値	—	2,000	1,900	1,800
						実績値	2,400	1,877		
					通所型サービスC事業(延べ人数)	計画値	—	1,500	1,500	1,500
						実績値	1,260	1,373		
		訪問型サービスA事業(延べ人数)	計画値	—	220	230	240			
			実績値	210	399					
		ウ 介護予防ケアマネジメント事業	計画作成時から一定期間でモニタリングを行い、本人の心身の状態に応じて、適切なサービスや参加の場への移行を図る。	ケアマネジャーが目指す「自立支援」の方向性を統一できるよう研修を重ねていく必要がある。	計画作成数(延べ件数)	計画値	—	450	450	450
						実績値	450	457		
	(2)一般介護予防の充実	ア 地域介護予防活動支援事業	もともとある地域毎の住民活動の支援の他、介護予防に資するボランティア活動グループの支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康相談」を実施し、地区サロン再開のきっかけを作った。</li> <li>・それぞれの活動内容ややり方を尊重し、引き続き住民主体の活動が定着するよう取り組む。</li> </ul>	自主活動グループ参加者数(人)	計画値	—	2,400	2,400	2,400
実績値						—	1,239			
イ 一般介護予防事業評価事業		地域包括支援センターと生活支援コーディネーターにより、令和2年度の実績を元に、近隣市町との比較等もしながら、評価を行う。	評価から、分析や課題、令和3年度の方向性を共有しあい、取り組みにつなげている。							
ウ 介護予防普及啓発事業		各地区巡回健康相談の機会を活用した介護予防講座の実施や調理実習等を通じた介護予防の普及啓発を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により地区サロンの開催が見送られたため、「健康相談」を実施し、地区サロン再開のきっかけを作った。</li> <li>・集団で行う事業が困難な状況であり、令和4年度から「ふれあい調理実習」は実施しないことと見直しを行った。</li> </ul>	ふれあい調理実習参加者数(人)	計画値	—	50	60	70	
					実績値	50	0			
冬場の健康相談参加者数(人)		計画値	—	710	720	730				
		実績値	700	236						
エ 介護予防把握事業	70歳以上の住民健診受診者に基本チェックリストを実施し、該当者には健診結果返し時に聞き取りを行い、介護予防サービスの利用につなげている。	基本チェックリスト該当者の適切な見極めが重要である。	基本チェックリスト該当者(人)	計画値	—	200	200	200		
				実績値	200	11				

基本目標	基本施策	主要施策	令和3年度		評価指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
			主な取組内容	評価や課題・改善策等						
2 いきいきと暮らせるまちづくり-健康づくりと介護予防-【計画書P49～P53】		オ 地域リハビリテーション支援事業	・地域における住民の集いの場や地域ケア個別会議などにリハビリテーション専門職の参加を促し、介護予防や重度化防止につながる取組を推進する。	丹波・瑞穂地区の地域ケア会議に継続して出席していただき、「ケアマネジメントの質の向上」に対して、共同で研修を実施した。 コロナ禍により、住民の集いの場や地域ケア会議の開催が感染状況により左右され、計画しにくい。	リハビリテーション専門職の派遣件数(件)	計画値	—	2	2	2
					実績値	—	6			
					サロンリーダー等の研修参加者数(人)	計画値		45	47	50
					実績値	41	47			
					地域ケア個別会議(回)(再掲)	計画値	—	30	30	30
					実績値	29	12			
	(3)任意事業	ア 家族介護支援助成事業・介護用品購入費助成事業	申請により、町内で購入の介護用品(紙おむつ、尿取りパッド等)について、月額5,000円以内(ただし、要介護4及び5で住民税非課税世帯の方については、月額75,000円以内)の助成を行う。	入院や施設等を利用した場合は対象外となるため、十分な確認を行い、適正給付を図る必要がある。	実利用人数(人)	計画値	—	357	350	350
					実績値	322	326			
		イ 福祉用具・住宅改修支援事業	居宅介護支援のサービス提供を受けていない方の住宅改修の理由書作成を支援をした介護支援専門員等に補助を行う。	住宅改修の申請者は、ケアマネジャーと契約されている方がほとんどのため、年間数件程度の実績となっている。	住宅改修費理由書の作成経費助成件数(件)	計画値	—	2	2	2
					実績値	2	0			
	3 生きがいづくり活動の推進	(1)老人クラブ活動の推進	・健康増進事業(グラウンドゴルフ・健康体操講座) ・各種活動(サークル、清掃奉仕、友愛交流、地域見守り)	・会員の高齢化と会員数の大幅な減少が進んでいる。 ・加入年齢の引き下げ等会員数の増加に取り組んでいるが、歯止めがかからない状況である。	老人クラブ数	計画値	—	32	32	32
					実績値	32	30			
					老人クラブ会員数(人)	計画値	—	900	900	900
					実績値	900	841			
		(2)シルバー人材センターへの支援	・普及啓発活動:随時入会説明会、「シルバーだより」の発行等 ・就業機会:企業や団体等への訪問による、就業機会の開拓・確保 ・安全・適正就業:安全就業研修会や安全就業パトロールの実施 ・シルバー派遣事業:労働者派遣法に基づく派遣事業の実施	働く意欲のある高齢者が、経験と知識を遺憾なく発揮し、年齢に関係なく活躍できる「生涯現役社会」を実現できるよう、シルバー人材センターは重要な役割を担っているが、会員数や契約件数が減少している。	シルバー人材センター会員数(人)	計画値	—	300	350	350
					実績値	258	234			
					シルバー人材センター就業延べ人数(人)	計画値	—	5,500	6,100	6,100
					実績値	4,392	4,276			
		(3)ボランティア活動の支援	社会福祉協議会によるボランティア養成講座、研修会、サロン等を開催。	・ボランティア活動は、感染対策をしながら活動を再開されたサークルも増えつつあるが、高齢者施設への訪問や地域行事は中止が続いており、活動の場が減っている。 ・サロン活動は、コロナ禍において集まるのが難しいなか、訪問活動を継続した。 ・「地域ふくし活動は地域の宝物」冊子を作成。全戸配布し、地域活動の大切さを発信する機会とした。	ボランティア団体活動団体数	計画値	—	50	50	50
					実績値	51	50			
サロン実施回数(回)					計画値	—	800	800	800	
実績値					405	554				
(4)生涯学習の推進		高齢者が、多様な学習活動への参加を通じて学習意欲を満たし、学ぶ喜びを実感できるよう、高齢者のニーズに対応した様々な学習機会の提供に努める。	・新型コロナウイルス感染症により中止。 ・これまで高齢者のみの講座としていたが、年齢に制限なく、町民であれば誰もが受講できるよう、令和4年度より「京丹波町民大学」とする等仕組みを変える。	「いきいき大学」講座数	計画値	—	7	7	7	
				実績値	1	0				
				「いきいき大学」受講者数(人)	計画値	—	245	245	245	
				実績値	16	0				

基本目標	基本施策	主要施策	令和3年度		評価指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
			主な取組内容	評価や課題・改善策等						
		(5)スポーツ活動の推進	・高齢者がスポーツ等を通じて、健康の保持増進や運動への意欲高揚、相互の親睦を図ることができる機会の提供に努める。 ・参加者と運営に携わるスポーツ少年団員が世代を超えて交流できる場の設置に努める。	・新型コロナウイルス感染症により中止。 ・参加者の安全確保に努めながら、運動機会のきっかけモチベーションの確保つながらるよう内容の検討を行う。 ・スポーツ少年団員やスポーツ推進委員のサポートにより実施出来ていることから、参加者と交流できる場を充実させる。	「いきいきシルバードリブン」実施回数(回)	計画値	—	1	1	1
					「いきいきシルバードリブン」参加者数(人)	計画値	—	30	30	30
		(1)軽度生活援助事業	介護保険認定者を除く、概ね65歳以上の高齢者で、ひとり暮らし世帯、高齢者のみの世帯等を対象に、外出時の援助、食事・食材の確保、健康管理、栄養管理に関する助言等を行う。 ●委託先:京丹波町社会福祉協議会	・登録人数は6人であるが、実際に利用している方は1人。 ・実績は少ないが、必要時の援助として継続が必要。	軽度生活援助事業件数(件)	計画値	—	48	48	48
					軽度生活援助事業実利用人数(人)	計画値	—	24	24	24
		(2)外出支援サービス	概ね65歳以上であって下肢が不自由な方で、一般の交通機関を利用することが困難な高齢者等を対象として、居宅から医療機関等までの送迎を行う。 ●委託先:京丹波町社会福祉協議会、クローバー・サービス、まごころサービスあい愛、さわやかライフ、京都タクシー株式会社亀岡支社	・年々利用者は減少しているが、JRバスの運行本数の減少等公共交通機関の利用が困難な状況が出ている。 ・庁内間でも関係部署と連携を取りながら移動手段の確保について検討が必要。 ・運転手確保が困難な状況が継続している。	外出支援サービス件数(件)	計画値	—	11,000	11,000	11,000
					外出支援サービス実利用件数(人)	計画値	—	3,000	3,000	3,000
		(3)訪問理美容サービス	概ね65歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯、これに準ずる世帯に属する身体障害者で理美容院に出向くことが困難な方を対象として、訪問による理美容を行う。 ●委託先:京丹波町社会福祉協議会	・対象者の増加により、昨年度に比べ2倍近くの利用あり。 ・高齢化率の増加に伴い、今後さらに増えていくことが想定される。	訪問理美容サービス利用件数(件)	計画値	—	24	24	24
					訪問理美容サービス実利用件数(人)	計画値	—	24	24	24
		(4)食の自立支援サービス	概ね65歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯、これに準ずる世帯に属する身体障害者で、調理が困難な方を対象として、夕食を提供するとともに、安否確認、服薬の声かけを行っている。 ●委託先:京丹波町社会福祉協議会(瑞穂・和知)、丹波高原荘(丹波)、山彦会(木蘭)(丹波・瑞穂)、京丹波ほたるの里(丹波・須知区)	・対象者の死亡や入所に伴い、昨年度に比べ利用数は減少。 ・高齢者世帯の栄養バランスの取れた食事の提供、見守りを兼ねた事業であり引き続き継続が必要。	食の自立支援サービス利用件数(件)	計画値	—	30,000	30,000	30,000
					食の自立支援サービス実利用件数(人)	計画値	—	1,500	1,500	1,500
		(5)緊急通報体制等整備事業	65歳以上の独居高齢者等の世帯に対して、緊急発信電話装置を設置し、緊急時に近隣協力者へ通報できる体制を構築することで、独居高齢者本人や家族の不安軽減を図る。	・新規設置は1件のみで、施設入所や死亡、ZTVのケーブル電話に変更し廃止されるケースもあった。 ・設置から時間が経過している場合は、通報先の見直しも必要。	新規設置数(件)	計画値	—	5	5	5
					設置件数(件)	計画値	—	75	70	65
		(6)敬老祝賀事業	町内に居住する88歳、新100歳の方に対し祝金及び祝品を贈呈	コロナウイルス感染症の状況により、訪問か郵送等の実施方法の検討が必要。	敬老祝賀事業対象人数(人)	計画値	—	159	160	160
					対象人数(人)	計画値	—	1	1	1
		(7)老人保護措置事業	心身の状態や経済的な問題等により、在宅生活が困難な高齢者に係る養護老人ホームへの入所措置	町外の養護老人ホームへの入所措置者1名。当該者について入所委託を継続し、対象者の安定した生活を確保する必要がある。	対象人数(人)	計画値	—	1	1	1
					対象人数(人)	計画値	—	1	1	1

3 安心して暮らせるまちづくり-高齢者福祉の充実-【計画書P54~P60】

1 生活支援サービスの充実

基本目標	基本施策	主要施策	令和3年度		評価指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度			
			主な取組内容	評価や課題・改善策等								
3 安心して暮らせるまちづくり-高齢者福祉の充実-【計画書P54~P60】	2 認知症施策の推進	(1) 認知症に対する正しい知識の普及推進	地域や職域で認知症の人を手助けできる認知症サポーターの養成を推進し、学校教育の場や職域等において取り組みを強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人権研修会の場や小学校へキャラバンメイトを派遣し、認知症サポーター養成講座を開催。</li> <li>・広報や組織の連携により、地域の団体や教育関係に講座の開催を呼びかけ、講座をより広く知ってもらい、依頼してもらえるように啓発をより推進していく。</li> </ul>	認知症サポーター養成講座(回)	計画値	—	10	10	10		
						実績値	4	2				
					認知症サポーター養成数(人)	計画値	—	200	200	200		
						実績値	80	30				
					企業・学校等への出張普及啓発(回)	計画値	—	3	3	3		
						実績値	3	1,435				
		(2) 認知症の予防と早期相談体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の発症を遅らせたり、進行を緩やかにしたりする可能性のある活動に、誰でも、身近なところで参加できる環境の整備</li> <li>・認知症地域支援推進員の配置と相談先の周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳トレ・筋トレ教室等地域のグループに認知症予防プログラム(DVD)を提供し、自主的に取り組んでもらっている。</li> <li>・相談により早期に介護予防事業等必要な支援につなぐことで重症化防止が図れており、さらに広報を進めていく。</li> </ul>	脳トレ・筋トレ教室(回)	計画値	—	200	200	200		
						実績値	23	21				
					認知症地域支援推進員の配置(人)	計画値	—	3	3	3		
						実績値	3	3				
					個別相談会(回)	計画値	—	12	12	12		
						実績値	—	0				
	(3) 認知症本人や家族への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期集中支援活動の周知、普及促進</li> <li>・介護に関する学習や交流の場を定期的に開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症初期集中支援として、12ケース対応、相談支援を行った。</li> <li>・認知症の人と家族の交流会、勉強会を3回行った。</li> <li>・初期相談内容は、地域ケア会議において共有し、効果的に支援につなぐことができている。</li> </ul>	認知症初期集中支援チーム設置	計画値	—	1	1	1			
					実績値	1	1					
				本人交流会の開催(回)	計画値	—	3	3	3			
					実績値	0	3					
家族教室・交流会の開催(回)				計画値	—	3	3	3				
				実績値	0	3						
(4) 認知症の方の安心や安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関、警察等を含めたネットワーク体制の強化</li> <li>・早期発見に協力してもらうために、広報・周知を行うとともに、事例ごとの地域ケア個別会議等による、見守り体制の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議等において事業の案内を行い、該当と思われる方へ事前登録、QRコード付きシール等の利用案内を行った。</li> <li>・事前登録者については、地域ケア会議、個別ケア会議で情報共有し、状況に応じた地域での見守り、早期発見の協力体制を構築している。</li> <li>・事前登録をしていない人の行方不明事例があったため、広報・周知を図る必要がある。</li> </ul>	徘徊SOSネットワーク登録人数(人)	計画値	—	15	15	15				
				実績値	15	11						
			徘徊SOSネットワーク登録団体数(団体)	計画値	—	60	60	60				
				実績値	61	61						
			3 高齢者の人権尊重と権利擁護の推進	(1) 権利擁護に関する取組の充実	ア 日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府社会福祉協議会からの受託により、京丹波町社会福祉協議会が事業を実施している。</li> <li>・金銭の出納管理だけでなく、本人の自己実現が叶うよう、サービス関係者とも情報共有しながら支援を進めている。</li> </ul>	一人暮らしや認知症高齢者、障害者がいる世帯等、複合的な問題のあるケースが増えている。重層的に支援する体制が必要である。					
福祉サービス利用援助事業(件)	計画値	—			30	30	30					
	実績値	30			27							
成年後見制度利用支援事業(件)	計画値	—	1	1	1							
	実績値	0	0									

基本目標	基本施策	主要施策	令和3年度		評価指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
			主な取組内容	評価や課題・改善策等							
3 安心して暮らせるまちづくり-高齢者福祉の充実-【計画書P54～P60】	4 高齢者の住まいの確保	(2) 虐待防止への取組の推進	・民生児童委員や人権擁護委員、社会福祉協議会、司法書士、警察、消防、保健、医療の専門職等の関係者からなる「京丹波町高齢者を守るネットワーク協議会」の体制をさらに強化し、虐待の予防、早期発見、早期対応及び再発防止のため連携を図る。	・虐待事例の通報は、ケアマネジャー、民生児童委員、警察等から包括支援センターへ直接、相談・通報が入る。 ・事実確認後、コア会議の開催により関係者で情報共有等を図り、ケアプランの見直しやサービス調整を行うなど、介護者の負担軽減も含め、早期解決に努めている。 ・支援を行っていく中核機関の設置、ネットワークの構築が必要。							
		(1) 養護老人ホーム	本町に該当施設は無いが、必要な方が適切に利用できるような体制づくりに努めている。	利用が必要な方に対し、適正な措置が図れるよう、事業者等との連携に努める。							
		(2) 軽費老人ホーム(ケアハウス)	本町には、あんしんサポートハウス以外の該当施設は無いが、問い合わせ等があった際には情報提供に努めている。また、利用に係る介護サービス費の確保に努めます。	利用が必要な方が適切に利用できるよう、事業者等との連携に努める。							
		(3) 高齢者あんしんサポートハウス	新たな整備予定は無いため、既存施設の適正な運営に対する支援及び利用を希望する方への情報提供に努めている。	町内に2施設が整備されているが、直近の本町被保険者の待機者は延べ5名となっており、待機者の減少が著しい。引き続き必要な方が適切に利用できるよう、事業者等との連携に努める。	高齢者あんしんサポートハウス(施設数)	計画値	—	2	2	2	
						実績値	2	2			
						高齢者あんしんサポートハウス(入所定員)	計画値	—	60	60	60
							実績値	60	60		
		(4) サービス付き高齢者向け住宅	本町に該当施設は無いため、直接的な取組は無いが、問い合わせ等があった際には情報提供に努めている。	利用が必要な方が適切に利用できるよう、京都府や事業者等との連携に努める。							
		(5) 介護予防安心住まい推進事業	65歳以上で、要支援又は要介護の認定を受けていないが、認定の可能性が高い方で非課税世帯である方を対象に、住環境の整備を図る。	介護認定申請時に、住宅改修のみを希望する方に説明を行うなど、事業の利用促進を図っている。	介護予防安心住まい推進事業対象件数(件)	計画値	—	4	4	4	
							実績値	3	5		
		(1) ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	住宅改修費支給制度等の情報提供に努めるなど、高齢者等の環境整備を推進している。	介護保険制度の冊子等を活用し、住宅改修費支給制度等の利用方法等の更なる周知を図る。							
		(2) 災害時要援護者支援事業	・新規対象者への登録勧奨(申請書送付、入力) ・名簿の定期更新(異動情報の反映)	個別避難計画の策定について、おおむね5年以内に作成することが市町村の努力義務となったことから、庁内の関係部署と連携しながら取り組んでいく。	災害時要援護者個別計画(件)	計画値	—	1,600	1,700	1,800	
							実績値	1,536	1,439		
		(3) 京丹波町「命のカプセル」事業	民生児童委員より、毎年2月1日現在で、カプセル登録者の異動や変更等を町へ報告。救急医療情報の変更等の届出に係る声かけも行っている。	登録者が救急搬送された際、救急医療情報により迅速な対応ができた例があった。今後も継続して本事業に取り組んでいく。	「命のカプセル」配布数	計画値	—	1,230	1,230	1,230	
							実績値	1,243	1,203		
		(4) 情報発信とお知らせ機能の充実	・新規申請に係る相談時や65歳到達者に対する被保険者証送付時に小冊子を配布し、制度の啓発を図っている。 ・広報誌や、町ホームページ、京丹波あんしんアプリ等により、分かりやすくかつ迅速に情報提供を行うよう努める。	パンフレットを用いて、介護保険制度やサービス内容等の説明を引き続き行う。	資格取得時等の小冊子の送付	計画値	—	200	200	200	
							実績値	214	206		
							新規認定者への結果通知時の制度チラシの送付数	計画値	—	200	200
								実績値	237	259	
(5) 感染症への備え	・感染症など、地域や施設での生活環境へのリスクの高まりに対して、事前の備えを充実させるとともに、緊急時の対応力の強化を図る。 ・感染拡大時には、関係者、関係機関との連携・協力のもと、高齢者等への感染症のまん延予防に努める。	新型コロナウイルス感染拡大時には、関係者、関係機関との連携、協力のもと状況把握に努めた。しかしながら、個人情報の観点等から確実な情報を入手できない状況であり、不安は大きい。									

基本目標	基本施策	主要施策	令和3年度		評価指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
			主な取組内容	評価や課題・改善策等						
4 介護サービスの充実と質の向上【計画書P61～P64】	1 介護サービス等の充実	(1) ケアマネジメントの充実	事業対象者、要支援認定者等、比較的軽度な状態で新規に相談を受け付けた事例を地域ケア会議で共有し、検討している。	・地域ケア個別会議では、多面的な視点からケースの課題分析、支援策検討を行い、ケアプラン、具体的な支援に反映している。 ・ケアマネジャーの「自立支援」「重症化予防」の捉え方にはばらつきがあるため、ケアマネジメントの平準化を図る研修を行っている。	地域ケア個別会議(回)(再掲)	計画値	—	30	30	30
		(2) 居宅介護支援事業者への支援	介護支援専門員が抱える困難事例等について、地域包括支援センターによる後方支援を行う。	・地域ケア個別会議では、関係職種の参加により、多面的な視点からケースの課題分析、支援策検討を行い、ケアプラン、具体的な支援に反映している。 ・介護予防ケアプランの作成を委託する場合、担当ケアマネジャーと地域包括支援センター職員がアセスメントを一緒にを行い、助言等を行った(19件)		実績値	29	12		
		(3) 介護サービス事業者への指導・監督	適正な運営の促進など、京都府と連携した事業者支援に努める。	・新型コロナウイルス感染症対策により実績なし。制度の複雑化とともに、事業所にとって有益な指導が求められており、より一層、京都府との連携や担当職員のスキルアップを図ることが重要。		ケアマネジャー協議会(回)(再掲)	計画値	—	2	2
				実績値		0	1			
				計画値		—	3	3	3	
				実績値		0	0			
		(1) 制度の普及啓発等	・65歳到達者への小冊子送付による制度案内の実施 ・広報誌、町ホームページ、京丹波あんしんアプリ等による迅速な情報提供	情報提供後は、問い合わせ等もあり、一定の周知は図れている。						
		(2) 介護給付費の適正化	・要介護認定調査の内容について、訪問又は書面等の点検 ・「介護給付費等適正化支援システム」を活用しケアプランの確認検証 ・住宅改修の事前、事後に訪問や書類点検 ・縦覧点検・医療情報との突合は、国保連合会へ委託し継続的に実施	認定調査票や住宅改修の点検については、全件点検を行うことができたが、要介護認定者のケアプラン点検については、職員のマンパワー不足や、専門的知識を有する者がなく、点検を行うことが難しい。	認定調査票の点検件数(件)	計画値	—	850	850	850
					実績値	832	838			
	ケアプランの点検件数(件)				計画値	—	50	50	50	
					実績値	61	42			
					住宅改修の点検件数(件)	計画値	—	80	80	80
						実績値	62	73		
					縦覧点検・医療情報との突合件数(件)	計画値	—	1,500	1,500	1,500
						実績値	1,213	1,200		
	(3) 制度改正に関する情報の提供等	介護サービス事業者に最新の情報が伝わるよう、制度改正の情報等を、介護サービス事業所対して行う。	主に厚生労働省老健局老人保健課発出の「介護保険最新情報」について、事業所等に関連する情報を必要に応じメール等にて提供した。今後も適切かつ速やかな情報提供に努める。	介護サービス事業者への情報提供等(回)	計画値	—	10	10	10	
					実績値	80	50			
	3 低所得者対策	・所得段階第3段階該当者の保険料負担軽減の実施 ・施設等利用者の食費等の負担軽減に係る負担限度額や高額介護サービス費等の制度の周知	・所得段階の第3段階該当者までの保険料負担軽減措置が年度を通じて適用 ・低所得者に対し軽減制度周知に努める。							
	4 人材の確保及び資質の向上	(1) 介護人材の確保対策支援事業	・「福祉人材確保対策事業助成金交付事業」による助成 介護福祉士資格取得に係る受験料等の助成 13件 介護職員募集経費、人材確保経費の助成 6件 ・京丹波町介護福祉士育成修学資金貸与制度の活用 4件	・法人向けの「福祉人材確保対策事業」に係る効果の見極めが必要である。 ・「介護福祉士育成修学資金貸与制度」の活用促進に向けた制度の周知に努める。	京丹波町福祉人材確保対策事業助成金交付事業の活用(件)	計画値	—	15	15	15
					実績値	11	19			
					京丹波町介護福祉士養成修学資金貸付事業の活用(件)	計画値	—	3	3	3
						実績値	3	4		
		(2) 介護サービス相談員派遣事業	介護相談員2人1組による月2回の事業所訪問により、利用者への傾聴等を行い、介護サービス現場の見直しや、介護職員等の資質向上と介護現場の魅力アップによる人材確保につながることを目指す。	・感染症予防のため、全て中止 ・今後の活動の在り方について検討が必要						